

船舶事故等調査報告書

平成25年5月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013神第9号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成24年10月22日 14時15分ごろ
発生場所	阪神港神戸第3区 兵庫県神戸市所在の神戸第7防波堤東灯台から真方位316°3,950m付近 （概位 北緯34°42.1′ 東経135°15.9′）
事故等調査の経過	平成25年1月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 安芸津丸、499トン
船舶番号、船舶所有者等	133066、芙蓉海運株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 なし 岸壁 凹損及び擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、メイズ約1,500tを積載し、阪神港神戸第3区の専用岸壁から後進微速で離岸作業中、左舷船首方からの風の影響で船首部が右方に振られ、平成24年10月22日14時15分ごろ右舷船首部の錨が専用岸壁東隣の岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の末期
その他の事項	船長は、本事故発生時まで何回か専用岸壁から離岸の経験があった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、阪神港神戸第3区の専用岸壁から離岸作業中、左舷船首方からの風で船首部が右方に振られたことから、右舷船首部の錨が専用岸壁東隣の岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、阪神港神戸第3区の専用岸壁から離岸作業中、左舷船首方からの風で船首部が右方に振られたため、右舷船首部の錨が専用岸壁東隣の岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。

参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 離岸作業に際しては、風の影響を考慮した操船を適切に行うこと。
-----------	---